

V 健やかな「都」をつくる

14 健康寿命日本一を目指した健康づくり

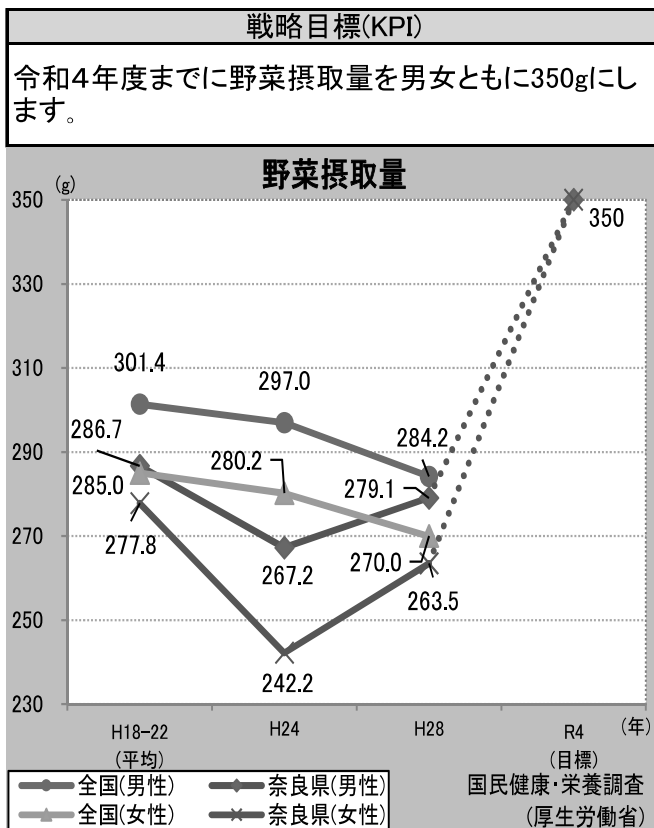
担当部局等：福祉医療部、医療政策局

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和4年までに県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女ともに日本一にします。 参考値:令和3年 男性1位 19.47年(長野県)、女性1位 22.07年(長野県)				目安値(b)	進捗率(a/b)	
<p>健康寿命(65歳平均自立期間)</p> <p>目標 全国1位</p> <p>健康推進課調べ</p>	男性	H 25	R 3	/	R4	
	順位	13	+ 10位			3
	健康寿命	17.67	+ 1.28年			18.95
	女性	41	+ 20位			21
	女性	20.26	+ 1.20年	21.46		全国1位
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>男性の健康寿命は平成25年から令和3年の8年間で1.28年延伸し、全国順位は3位となっています。女性の健康寿命は平成25年から令和3年の8年間で1.20年延伸し、全国順位は21位となっています。</p>						
<p>背景・要因等</p> <p>禁煙、減塩、運動が疾病の予防に強く影響する健康行動です。本県では、たばこ対策の推進、減塩・野菜摂取の推進、おでかけ健康法の普及等の取組を進めてきたことが健康寿命延伸の一因と考えられます。</p>						

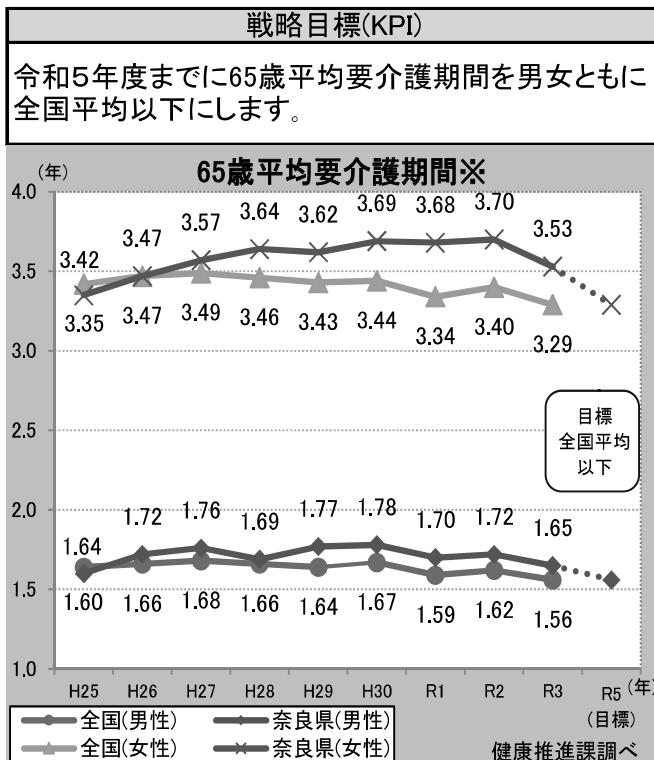
各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(51) 健康増進施策の推進
-----	----------------

責任者	医療政策局 健康推進課長
-----	-----------------



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)		
		目安値(b)	進捗率(a/b)			
H 18 -22	H 28	H 28		R 4		
男性	286.7	- 7.6 g	279.1	326.3	85.5% ③90%未満 (基準値未満)	350 (基準値未満)
女性	277.8	- 14.3 g	263.5	322.9	81.6% ③90%未満 (基準値未満)	350 (基準値未満)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
男性の野菜摂取量は平成18～22年の286.7gから平成28年の279.1gと7.6g減少しました。女性の野菜摂取量は平成18～22年の277.8gから平成28年の263.5gと14.3g減少し、基準値より少なくなっています。						
背景・要因等						
平成18年から平成28年にかけては食生活が大きく変化していないことが考えられます。また、4年に1度実施される国民健康・栄養調査(大規模調査)が、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年に実施されなかったため、平成28年以降データがありません。						
R4年度の取組・成果						
中食(惣菜・弁当等)の減塩・野菜増量を推進する「やさしおベジ増しプロジェクト」では新たに9店舗の参加協力を得ました。また、県民への普及啓発として「私のやさしおベジ増し宣言」の募集や、民間事業者との連携協働により商業施設で啓発イベントを行いました。						



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)	
		目安値(b)	進捗率(a/b)		
H 25	R 3			R5	
男性	1.60	+ 0.05 年	1.65		全国平均以下
女性	3.35	+ 0.18 年	3.53		全国平均以下
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)					
男性の平均要介護期間は平成25年～令和3年の8年間で0.05年延伸し、全国平均を0.09年上回っています。女性の平均要介護期間は平成25年～令和3年の8年間で0.18年延伸し、全国平均を0.24年上回っていますが、どちらも前年より短くなっています。					
背景・要因等					
主に脳血管疾患、認知症、高齢による衰弱、関節疾患、骨折・転倒が重度の要介護状態を招く要因になっています。					
R4年度の取組・成果					
運動の推進として「おでかけ健康法」の普及に取り組み、県営健康ステーションは2箇所まで延べ11,844人が利用し、市町村営健康ステーションは4箇所まで延べ2,671人が利用しました。					

※は数値が低い方が良くなる指標です。

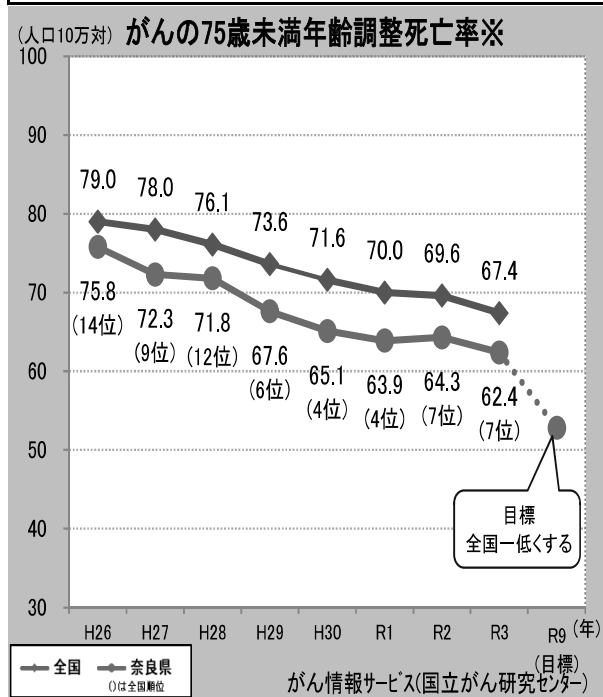
関連指標	指標の動き			
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
運動習慣者の割合(%)	50.4	46.4	47.8	52.3
住民運営の通いの場の数[累計](所)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	512	659	719	749

テーマ	(52) がん対策の推進
-----	--------------

責任者	医療政策局 疾病対策課長
-----	-----------------

戦略目標(KPI)	
令和9年までにがんの75歳未満年齢調整死亡率を全国一低くします。 参考値:52.8(第3期奈良県がん対策推進計画における目標値)	

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 26	R 3			R9
順位 14	+7 位			全国一 低くする
死亡率 75.8	-13.4 ポイント			



評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
令和3年のがん死亡率は、平成26年と比べて13.4ポイント減少して全国7位となりました。平成17年からの減少率は33.8%と7年連続で全国1位となっています。

背景・要因等
新型コロナウイルス感染症の影響で、全国的にがん検診の受診控えによる受診率の低下が見られましたが、「がんにならない、がんで若い人が亡くならない」を目標としたがん対策推進計画に基づき、がんになるリスク要因の見える化、がん検診の受診啓発、たばこ対策等、関係機関と連携し取り組んできたことから、死亡率の低さは全国で上位を維持しています。

R4年度の取組・成果
がん治療によって生殖機能が影響を受けることに対し、妊育性(妊娠するために必要な力)を温存するために行う治療費用への助成(令和3年度創設)の活用が進んだほか、温存療法により凍結した受精卵等を用いた生殖補助医療に対する助成を開始しました。また、がんゲノム医療の体制整備を進める中、奈良県立医科大学附属病院が、新たに「がんゲノム医療拠点病院」に指定されました。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

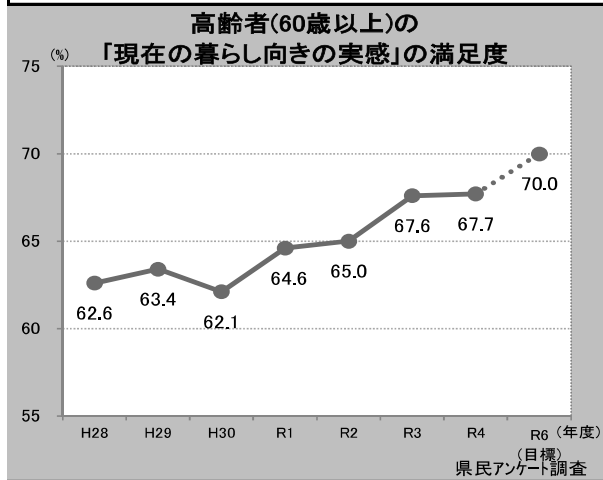
関連指標	指標の動き			
がん検診の個別受診勧奨・再勧奨に取り組む市町村数[累計](市町村)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	29	28	29	29
がん相談支援センターの利用者数(件)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	7,064	7,358	7,731	6,314

テーマ	(53) 高齢者の安全安心で人生を楽しめる暮らしづくり
-----	-----------------------------

責任者	福祉医療部 長寿・福祉人材確保対策課長
-----	------------------------

戦略目標(KPI)	
令和6年度までに県民アンケートにおける高齢者(60歳以上)の「現在の暮らし向きの実感」の満足度70.0%を目指します。	

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 28	R 4	R 4	99.3%	R 6
62.6	+5.1 ポイント	67.7	②(90~100%)	70.0 (68.9%)



評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)
令和4年度は67.7%が「現在の暮らし向きに満足している」と回答しており、目標に向けて満足度が向上しています。

背景・要因等
高齢者が住み慣れた地域で健康に、生きがいをもって暮らし続けられるよう、スポーツや文化などを通じた社会活動の機会づくり、認知症の正しい知識の普及啓発に取り組んだ結果、年々割合が上昇しています。

R4年度の取組・成果
新たに26名のシニアが介護のお仕事入門研修を修了し、うち4名が福祉人材センターに求職者として登録しました。新たに7,877名が認知症サポーター養成講座を修了し、地域で認知症の方や家族の見守り活動に取り組みました。

関連指標	指標の動き			
介護のお仕事入門研修修了者数[累計](人)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	34	63	81	107
認知症サポーター養成者数[累計](人)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	111,774	117,854	123,267	131,144

V 健やかな「都」をつくる

15 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実

担当部局等： 危機管理監、医療・介護保険局、
医療政策局

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
医療に対する県民の満足度(急病時に診てもらえる医療機関があること)を毎年度向上させます。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
		H 25	R 4			毎年度 向上
		2.73	+ 0.35 ポイント 3.08			
<p>医療に対する県民の満足度 (注1)</p> <p>(ポイント) (急病時に診てもらえる医療機関があること)</p> <p>満足度平均(注2) (注1)5段階評価 (注2)県民の生活に関する満足度調査における全項目の満足度の平均 県民アンケート調査</p>						
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>令和4年度の医療に対する県民の満足度(急病時に診てもらえる医療機関があること)は前年度より0.05ポイント増加し、3.08ポイントとなりました。令和2年度以降は毎年度向上の目標を達成しており、順調に推移しています。</p>						
<p>背景・要因等</p> <p>県立医科大学附属病院及び県総合医療センターのER型救急医療体制が順調に機能しています。また南部においては南奈良総合医療センターにおける急性期医療の集約やドクターヘリの運航などにより、救急医療体制は年々充実しており、医療に対する県民の満足度は増加傾向にあります。</p>						

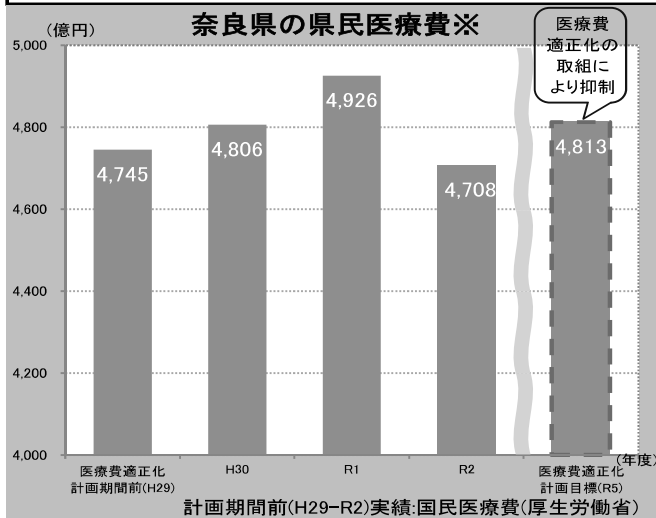
各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(55) 地域医療構想の推進、医師確保計画の推進	責任者	医療政策局 地域医療連携課長						
<p>戦略目標(KPI)</p> <p>○全国モデルとなる地域医療構想を実現します。 ○令和4年の人口10万人当たり医療施設従事医師数を平成30年に比べて10%増加させます。</p>									
<p>(人) 人口10万人当たり医療施設従事医師数</p> <p>全国 奈良県 (○は全国順位)</p> <p>医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)</p>		<p>基準値</p> <p>H 20</p> <p>207.1</p>		<p>実績値(a)</p> <p>R 2</p> <p>277.1</p>		<p>進捗状況</p> <p>目安値(b)</p> <p>進捗率(a/b)</p>		<p>目標値 (達成率)</p> <p>R 4</p> <p>H30年に比 べ10%増加</p>	
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>奈良県の医療施設(病院・診療所)に従事する人口10万人当たり医師数は、令和2年は277.1人であり、平成28年の調査以降、全国平均を上回る水準を維持しています。</p>									
<p>背景・要因等</p> <p>地域間・診療科間の医師偏在を解消するため、平成20年度から医学部の新入学生を対象とした修学資金貸与制度を設け、医師の養成・確保を行っています。令和4年度には、貸与を受けた医師78名を県内公立・公的病院等に配置しました。</p>									
<p>R4年度の取組・成果</p> <p>医療データを「見える化」し、病院間の協議等に活用することで、医療機関の機能分化と連携を推進しました。幅広い診療能力を持つ「総合診療医」確保のための研修会等を実施し、県内医療機関に総合診療科の専攻医が令和4年度に10名採用され、総合診療医は年々増加しています。</p>									

テーマ	(57) 医療費適正化
-----	-------------

責任者	医療・介護保険局 医療保険課長
-----	--------------------

戦略目標(KPI)	
令和5年度の奈良県の県民医療費を4,813億円以下にします。	



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 29	R 2			R 5
4,745	- 37 億円 4,708			4,813

評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

県民医療費は、平成29年度の4,745億円から増加傾向にありましたが、令和2年度は4,708億円まで減少しました。

背景・要因等

医療費適正化の取組を着実に進めたことと、新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響で令和2年度の県民医療費は大きく減少しました。

R4年度の取組・成果

第3期医療費適正化計画に掲げる、特定健診実施率や後発医薬品使用割合の向上などの諸般の取組を保険者や医療関係者と連携して強化しました。

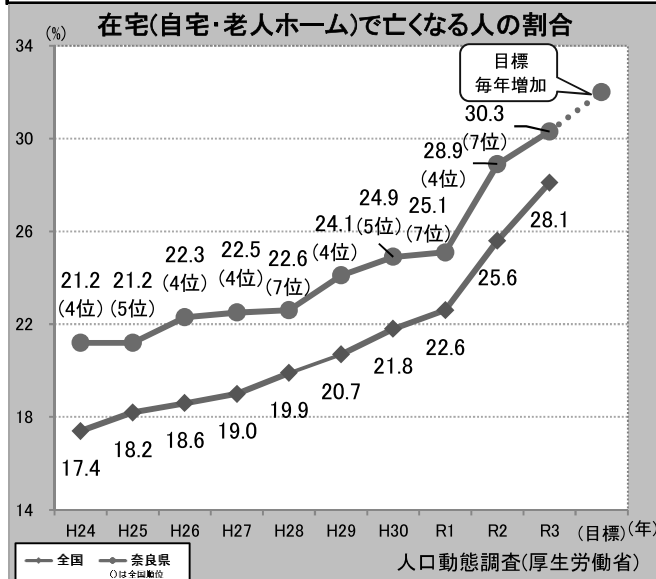
※は数値が低い方が良くなる指標です。

関連指標	指標の動き			
特定健康診査の実施率(%)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	46.8	48.8	46.4	49.4
後発医薬品使用割合(%)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	69.2	71.8	73.9	74.2

テーマ	(58) 地域包括ケア・在宅医療の充実
-----	---------------------

責任者	福祉医療部 政策参与(福祉医療担当)
-----	-----------------------

戦略目標(KPI)	
在宅(自宅・老人ホーム)で亡くなる人の割合を毎年増加させます。	



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 24	R 3			毎年増加
21.2	+ 9.1 ポイント 30.3			

評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

令和3年は30.3%と前年より1.4ポイント、平成24年からは9.1ポイント増加し、毎年増加させるという目標を達成しています。

背景・要因等

居宅サービスや地域密着型サービスの充実を図るとともに、多職種(医師・看護師・ケアマネジャー等)が連携した在宅医療を推進したこと等により、在宅(自宅・老人ホーム)で亡くなる人の割合は全国平均よりも高くなっています。

R4年度の取組・成果

入院患者が退院する際に、地域での支援が円滑に行われるための情報提供等のルール(退院調整ルール)が適切に運用されるよう、市町村への助言・情報提供等の支援を行いました。

関連指標	指標の動き			
入退院支援加算届出医療機関数[累計](医療機関)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	41	43	44	45
要介護認定者一人あたり訪問看護サービス(介護保険分)の年間利用回数(回)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	10.34	10.57	11.16	11.98

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況

テーマ	(54) 国保の県営化の円滑な推進	責任者	医療・介護保険局 医療保険課長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和6年度の県内保険料水準統一化を目指します。		市町村長との個別意見交換や奈良県国民健康保険市町村長会議による協議を行い、令和6年度の統一保険料水準について、市町村と合意しました。	
テーマ	(56) 新型コロナウイルス感染症対策	責任者	知事公室 危機管理監
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
医療提供体制を維持するとともに、県民の皆様へに感染予防対策の継続を呼びかけ、感染症対策と社会経済活動の両立を目指します。		療養先トリアージ基準の運用、クラスター対策の推進等により、通常医療との両立に努めながら医療提供体制を維持してきました。また、県対策本部会議や知事定例記者会見等を通じて、県民の皆様へのメッセージを発信するとともに、ワクチン接種を推進してきました。	
テーマ	(59) 県立医大の移転、医大病院施設・外来棟の整備	責任者	医療政策局次長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和6年度中に新キャンパス先行整備を竣工します。		新キャンパス先行整備の建築工事を令和4年10月に着工しました。	
テーマ	(60) 西和医療センターの移転・再整備の検討	責任者	医療政策局次長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和5年度までに新西和医療センター整備基本計画を策定します。		【R5予算執行査定の結果:JR王寺駅南側に加え、他の候補地も含めて、費用対効果等を比較・検討し、関係者と協議のうえ、方針を決定します。】	

V 健やかな「都」をつくる

16 福祉の充実

担当部局等：福祉医療部

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和6年度までに「地域のつながりに対する県民の満足度(住んでいる地域において互いに見守り、助け合うなど、つながりが感じられること)」を3.2ポイント以上にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
				H 28	R 4	R 4
		2.98	+ 0.09 ポイント 3.07	3.15	②(90~100%)	3.2 (40.9%)
<p>地域のつながりに対する県民の満足度 (注1) (住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること)</p> <p>注1)5段階評価 注2)県民の生活に関する満足度調査における全項目の満足度の平均 県民アンケート調査</p>						
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>令和4年度は前年度から0.01ポイント減少しましたが、基準値から概ね上昇の傾向にあります。また、地域のつながりに対する県民の満足度は、県民の生活に関する満足度調査の全項目平均よりも高い水準を維持しています。</p>						
<p>背景・要因等</p> <p>本県では福祉の充実に向け、包括的支援体制の整備を推進しています。コミュニティソーシャルワーカーの養成や医療的ケア児コーディネーターの養成、出所者の更生・就労支援など、誰もが社会の一員として包摂され、互いに支え合う地域の実現を目指した取組を進めています。</p>						

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(61) 日本一福祉の進んだ地域を目指す「福祉の奈良モデル」の構築	責任者	福祉医療部 政策参与(福祉医療担当)
-----	-----------------------------------	-----	-----------------------

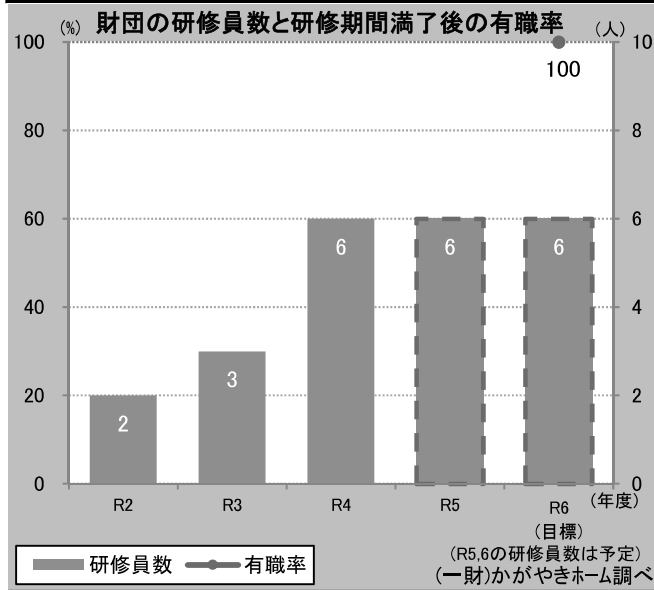
戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和8年度までにコミュニティソーシャルワーカー(CSW)配置市町村を14市町村にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
				H 29	R 4	R 4
		4	+ 4 市町村 8	9.6	③90%未満	14 (40.0%)
<p>コミュニティソーシャルワーカー 配置市町村数[累計]</p> <p>地域福祉課調べ</p>						
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>養成研修を修了したCSWの配置市町村数は増加傾向にありますが、令和4年度は令和3年度と変わらず8市町村となりました。</p>						
<p>背景・要因等</p> <p>養成研修修了者数は増加しましたが、市町村における配置は進みませんでした。</p>						
<p>R4年度の取組・成果</p> <p>市町村における包括的な支援体制の整備に向け、市町村向けトップセミナー等により機運の醸成を図るとともに、県社会福祉協議会と協働し、市町村のニーズに応じた実践支援等の取組を行いました。</p>						

関連指標	指標の動き			
CSW養成研修修了者数[累計](人)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	218	265	308	358
市町村地域福祉計画策定率[累計](%)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	59.0	66.7	76.9	79.5

テーマ	(63) 出所者の更生・就労支援
-----	------------------

責任者	福祉医療部 地域福祉課長
-----	-----------------

戦略目標(KPI)
 一般財団法人かがやきホームで研修した出所者等について、研修期間(3年以内)満了後の有職率(就業・起業など)を令和6年度から100%にします。



基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
	R 4			R 6
	-			100

評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

令和2年度中に採用した研修員1名について、令和4年4月から林業の就労研修先に正規職員として採用されました。

背景・要因等

就労研修先との情報共有、更生保護関係者による支援、相談員による相談対応等により、研修員が意欲を持って就労研修に取り組み、安定した地域生活を送ることができたことにより、正規雇用につながりました。

R4年度の取組・成果

新たに、令和4年10月に農業で2名、令和5年2月に林業で2名、合計4名の出所者を採用し、現在6名が在籍しています。また、保護司等の更生保護関係者の研修会での講話や、矯正展等のイベントへの参加など、更生支援についての地域の理解を深める取組を進めました。

関連指標	指標の動き			
年度末時点の財団の研修員数(人)		R2年度 2	R3年度 3	R4年度 6
刑務所出所者等雇用促進セミナー(協力雇用主向けセミナー)の参加者数(人)	R1年度 18	R2年度 20	R3年度 18	R4年度 16

テーマ	(62) 重症心身障害児(者)の居場所の確保
-----	------------------------

責任者	福祉医療部 障害福祉課長
-----	-----------------

戦略目標(KPI)

令和5年度までに医療的ケア児等コーディネーターを110人養成します。

令和5年度までに重症心身障害児者地域支援センター(居場所)を県中部・東部・南部地域に設置します。

進捗状況及び取組・成果

養成研修の開催により、令和4年度は32人養成しました。これにより令和4年度末までの養成人数は130人となり、目標を達成しました。

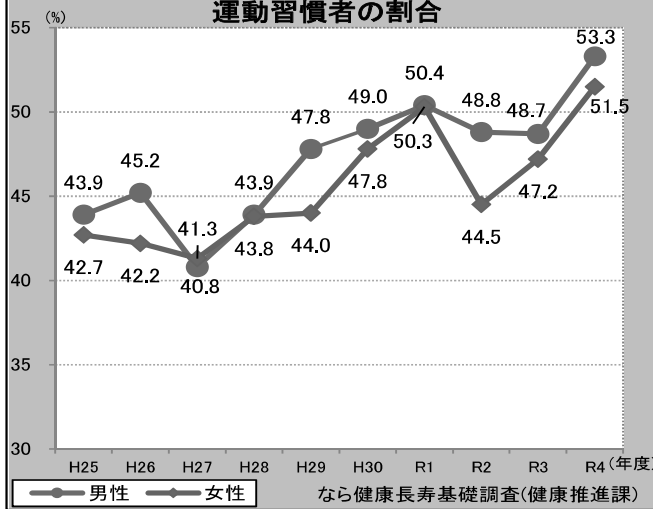
令和5年度の重症心身障害児者地域支援センターの設置に向け、令和4年度は障害福祉サービス事業所へアンケートを実施し、受け入れ側の課題を抽出するとともに、関係機関と調整を行いました。

V 健やかな「都」をつくる

17 だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

担当部局等：文化・教育・くらし創造部、地域デザイン推進局

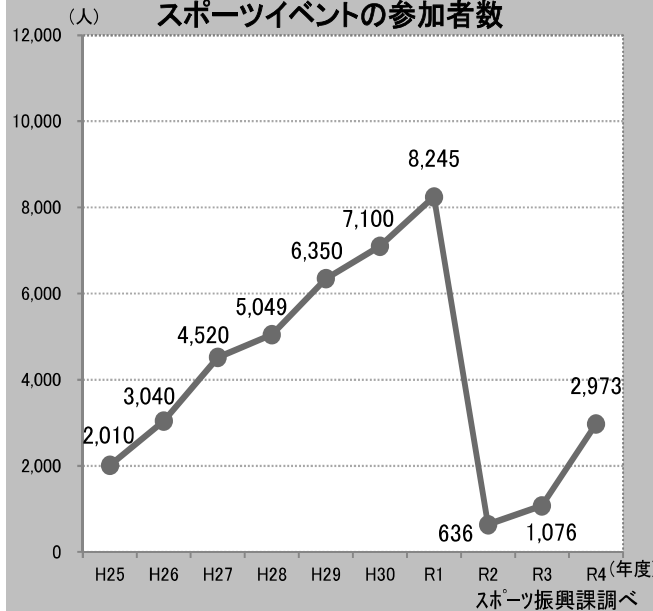
政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和4年度までに、運動習慣者(1日30分以上の運動・スポーツを週2日以上している人)の割合について、50%以上にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
運動習慣者の割合		H 25	R 4	R 4		R 4
男性	43.9	+ 9.4 ポイント	53.3	50	106.6%	50 (154.1%)
女性	42.7	+ 8.8 ポイント	51.5	50	103.0%	50 (120.5%)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
運動習慣者の割合の実績値は、男性は基準値の43.9%から9.4ポイント増加し、女性は基準値の42.7%から8.8ポイント増加しました。また令和3年度より男性が4.6ポイント、女性が4.3ポイント増加し、それぞれ目標を達成しました。						
背景・要因等						
新型コロナウイルス感染症の流行により、運動やスポーツの機会が喪失、制限されたことで、スポーツの持つ価値が再認識されていたところ、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら各種イベントを再開したため、運動習慣者の割合が増加しました。						



各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(64) スポーツ振興ビジョンの推進	責任者	文化・教育・くらし創造部 スポーツ振興課長
-----	--------------------	-----	--------------------------

戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和4年度までにスポーツイベント(総合型地域スポーツクラブ交流大会等)の参加者数を10,000人以上にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
スポーツイベントの参加者数		H 25	R 4	R 4	29.7%	R 4
		2,010	+ 963 人	2,973	10,000	③90%未満 10,000 (12.1%)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
参加者数は順調に増加してきましたが、令和2、3年度は大幅に減少しました。令和4年度は2,973人と令和3年度に比べ増加しましたが、目標は達成できませんでした。						
背景・要因等						
令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会等が中止もしくは開催規模縮小となったことにより、参加者数が減少しました。令和4年度は、感染症対策を万全にイベント等を再開させ、徐々に参加者数が戻りつつある状況です。						
R4年度の取組・成果						
新型コロナウイルス感染症対策として、開催方法の検討、チェックシート等による体調・行動管理等を徹底することで、令和3年度には中止となっていた市町村対抗子ども駅伝大会(4年ぶり)や、すぼろばフェスティバル(2年ぶり)を開催しました。						



関連指標	指標の動き			
総合型地域スポーツクラブ数[累計](クラブ)	R1年	R2年	R3年	R4年
	66	64	65	65
榎原公苑におけるナイトラン参加者数(人)	R1年	R2年	R3年	R4年
	21,292	16,416	13,150	18,782

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況

テーマ	(65) 奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けての検討	責任者	文化・教育・くらし創造部 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和13年の大会開催を契機に、より多くの県民がスポーツや健康づくりに関心を持ち、将来にわたって地域や県民一人ひとりが生き活きと元気になる環境づくりを目指します。		【R5予算執行査定の結果:大会開催に向けては既存施設を有効活用することを基本とし、競技環境の向上に必要な修繕や改修を大会後の有効活用も見据えて実施することで、戦略目標の達成を目指します。】	
テーマ	(66) まほろば健康パークの機能強化	責任者	地域デザイン推進局次長 (公園緑地課長事務取扱)
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和9年度の開園を目指して、民間活力導入により、まほろば健康パークの区域を拡張します。		【R5予算執行査定の結果:整備が必要な施設を再検討することとなったため、ニーズの把握や県内の同種の施設との重複を考慮し、整備が必要な施設の再検討をしっかりと進め、戦略目標を改めて検討します。】	